



arts in hearts
TOYOTA

指揮
秋山和慶

© 堀田力丸



R・シュトラウス 交響詩「英雄の生涯」

コンサートマスター 永峰高志
(元N響首席奏者)

R. Strauss / Ein Heldenleben, Op. 40

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 第1番

Liszt / Piano Concerto No. 1 in E Major

第1812回

トヨタコミュニティコンサート
TOYOTA COMMUNITY CONCERT



ピアノ
金子三勇士

© Seichi Saito

The 74th Concert of Philharmonic Ensemble Orchestra

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団 第74回演奏会

2023.9.18 (月祝)

開場 13:00 開演 14:00

東京芸術劇場

コンサートホール

池袋駅 (JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線)
西口より徒歩2分 / 南口より地下2b出口直結

主催：フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団

共催：トヨタ自動車株式会社

協賛：東京都トヨタ販売会社グループ

協力：公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

後援：駐日ハンガリー大使館 / リスト・ハンガリー文化センター

チケット

S席 3,000円 A席 2,500円 (全席指定)

※未就学児の入場はご遠慮願います

※会場の感染症対策に関するご案内を確認の上ご来場ください

プレイガイド

- ◆キョードー東京 0570-550-799
<https://tickets.kyodotokyo.com/peo74/>
- ◆チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/peo/> (Pコード243-350)
- ◆ローソンチケット <https://l-tike.com/peo74/> (Lコード32105)
- ◆イープラス <https://eplus.jp/peo/>
- ◆東京芸術劇場ボックスオフィス (休館日を除く10~19時)
0570-010-296
<https://tmt.pia.jp>

お問合せ

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団 事務局

☎ 03-3565-6383

✉ contact-peo@peo.jp <http://www.peo.jp/>

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、
アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。

WEBサイト



Instagram



1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

1991年東京響創立45周年記念ワールドツアーでは全公演を指揮して大成功をおさめ、1994年には同団第400回定期演奏会を記念したシェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(演奏会形式)を指揮、各紙から絶賛を博し同年音楽界最大の話題となった。また同公演のCDは各レコード誌より国内外で高く評価された。ふたたび1996年東京響創立50周年記念ヨーロッパ公演を指揮して同公演を成功に導き、2001年には同団創立55周年トルコ・イタリア公演を指揮し各地で好評を博した。1997年にシェーンベルク：ヤコブの梯子、ヤナーチェクの歌劇「利口な女狐の物語」(舞台上演形式)、2000年ラッヘンマン：歌劇「マッチ売りの少女」(演奏会形式・日本初演)、ヤナーチェク：歌劇「カーチャ・カバノヴァー」(原語による日本初演)、2003年にはジョン・アダムズ：「エル・ニーニョ」(日本初演)を取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

金子三勇士 (独奏 / ピアノ)

Miyuji Kaneko

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳より単身ハンガリーに留学。祖父母の家よりバルトーク音楽小学校に通い、ハンガリーのピアノ教育第一人者チェ・ナジュ・タマーシュネーに師事。2001年(11歳)飛び級で国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェーハージ・ジュンジ、ワグナー・リタの各氏に師事。

2006年(16歳)全課程取得とともに日本に帰国。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。

2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。

2011年第12回ホテルオークラ音楽賞を受賞。2012年第22回出光音楽賞を受賞、2012年第4回C.I.V.C.ジョワドヴィーヴル賞を受賞。2013年、平成24年度上毛賞「第10回上毛芸術文化賞 音楽部門」を受賞。

2019年10月公開の映画『蜜蜂と迅雷』にて主人公の一人「マサル」のピアノ演奏を担当、映画サウンドトラックCD「金子三勇士plays マサル」もリリースされ話題を呼んだ。

これまでにゾルタン・コチシュ指揮/ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)、下野竜也指揮/京都市交響楽団などと共演。国外では、ハンガリー、アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、ギリシャ、ルーマニア、チェコ、ポーランド、カザフスタン、ロシア、中国などで演奏活動を行なう。

NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数のメディアに出演。

近年はライフワークの一環として、アウトリーチ活動も積極的に行っている。コロナ禍でもオンラインを活用したさまざまな企画を発信中。

2021年は日本デビュー10周年を迎え、2022年3月にサントリーホールでソロ・リサイタル「原点×挑戦」を開催。同年、ドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」もリリースした。

キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

【オフィシャルHP】 <http://miyuji.jp/> 【NHK-FM】リサイタル・パッシオ <https://www.nhk.jp/p/r-passio/rs/VRKRWMKGMV/>

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団 (オーケストラ)

Philharmonic Ensemble Orchestra

1976年、立教大学交響楽団OBにより合唱団の依頼に応えるかたちで「メサイア」(ヘンデル)祝祭オーケストラとして結成。1979年に初の主催演奏会を開くにあたり、広く門戸をひろげ、一般の社会人オーケストラとして東京を中心に自主運営活動を行っている。「ホールも楽器の一部」との基本理念から演奏会場も音響の良いホールを求め、本拠地東京のみならず、国内外の名ホールを訪ねる演奏旅行なども企画し、他地域との交流にも心がけている。またトップアーティストをソリストやゲストとして迎えるなど、常に音楽的刺激を享受しオーケストラのレベル向上をはかっている。1992年、フィラデルフィアの他ニューヨークのカーネギーホールで初の海外公演。1998年、ウィーン楽友協会大ホールにて日本をモチーフにした曲などを紹介。

2000年北京、2002年ベルリンのフィルハーモニーホールで日本の優秀作品などの紹介にも努めている。

2004年3月、レオンカヴァッロ作曲のオペラ「ラ・ボエーム」をトヨタコミュニティコンサートの一環として日本初演、音楽関係誌で絶賛される。

2007年7月に小林研一郎指揮で第3回ヨーロッパ演奏旅行を実施。ハンガリー/ブダペストにてベートーヴェン「第九」、オーストリア/ウィーンにてマーラー「復活」を演奏し好評を博す。

2009年7月、オランダ/アムステルダムコンセルトヘボウサマーコンサートに招聘され、小林研一郎指揮でマーラー「復活」(交響曲第2番)を演奏。満席の聴衆からスタンディング・オベーションを受ける。

2010年11月、三枝成彰団長の六本木男声合唱団倶楽部に同行し、イタリア/ミラノ大聖堂にて、三枝成彰作曲「レクイエム」を演奏。

2012年、7月チェコ/ドヴォルザークホールにて、小林研一郎指揮のもと、チャイコフスキー/交響曲第5番等を演奏し、スタンディング・オベーション等の大喝采を浴びる。

2017年11月、清里開拓の父であり日本聖公会(立教大学、聖路加国際病院など)の為に尽力したポール・ラッシュ博士の生誕120周年を記念するコンサート(山梨県)に出演。

2018年9月、チェコ/スメタナホールにて、矢崎彦太郎指揮の下、R.シュトラウス/ホルン協奏曲第1番(独奏：カテジナ・ヤヴールコヴァ)リムスキー=コルサコフ「シェヘラザード」の他、西村朗の作品を紹介した。

演奏会のライブCDのほか、ベルリンフィルのソロ・トランペット奏者コンラディン・グロート教授とCD「トランペット協奏曲集」。ベルリンフィルのソロ・トロンボーン奏者オラフ・オットとのCD「トロンボーン協奏曲集」をカメラータ・トウキョウからリリース。2012年ドヴォルザークホールにてのライブCDをオクタヴィアレコードからリリース。

<今後の予定>

第75回演奏会 2024年3月10日(日) サントリーホール 指揮:小林研一郎 独唱:澤畑恵美 山下牧子 マーラー / 交響曲第2番「復活」

